

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣商業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和8年6月5日(金) 14:00~16:00
- 3 開催場所 大垣商業高等学校 校長室
- 4 参加者

会 長	栗山 利宏	大垣ミナモソフトボールクラブ専務理事
副会長	栗田 恵世	JP コーチ&コンサルティング(株) 代表取締役
委 員	堀 和英	和合地区 連合自治会長
	日比野 幸江	和合地区 民生委員
	吉中 亜紀子	本校PTA 副会長
	中村 宏子	本校PTA 会計監査
	吉田 大介	学校法人大垣総合学園 法人事務局長
	杉崎 康宏	大垣観光協会 副会長
	田中 禎一	大垣西ロータリークラブ 青少年育成委員長
	金森 律子	株式会社リリフル 代表取締役
学 校 側		
	武藤 純二	校長
	服部 久美子	副校長
	衣斐 恵美子	事務部長
	北島 康隆	教頭
	林 圭子	教頭
	小森 升裕	教務主任(全日制)
	井村 仁美	教務主任(定時制)
	後藤 有喜	専門教育推進部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 学校経営計画、スクールポリシー、教育課程・学校の組織編成等に関する事項について
 - ・学校経営ビジョン、スクールポリシー、指導の重点及び学校経営計画
(教務部・生徒指導部・進路指導部・専門教育推進部マニフェスト)
 - ・教育課程、学校の組織編成
- (2) 地域と連携した教育活動に関する事項について

意見1

企業や大学と連携し、ふるさと教育を一層推進しており評価できる。高校無償化等の影響で、本校の入学志願者が定員を割り込むことのないよう、本校の特色をより一層発信してほしい。

意見2

大学進学後においても、授業への参加やグループ発表に不安を感じる生徒がいる。本校ではどのように対応しているのか。

⇒本校に限らず、どの学校でも悩んでいる生徒がいる。本校の場合は授業や部活動、地域連携事業等を通じて、全人教育を行っている。また、教育相談とも連携しながら対応している。

意見3

部活動における遠征やバス利用について、遠征等による教職員の時間外勤務が気になる。マイクロボスの利用についても、安全面や運用面に不安がある。

⇒先般の事故を受けて、本県でも調査が行われている。引率の際には、無理のない計画と行程（宿泊も含む）を教職員に再度徹底した。

意見4

本校の活動は年々充実しており評価できる。一方で、地域連携事業の進展に伴う教員の負担が懸念されるが、教員自身の成長につながる側面もある。

意見5

企業展は進路を考える機会となり大変有難い。多くの地元企業が本校生徒に期待している。

意見6

新しい自習室が整備され、恵まれた学習環境である。資格取得への継続的な支援は有難いが、外部模試等は実施されているのか。

⇒3年希望者対象に外部模試（共通テスト対策模試）を実施しており、進学予定者は受験している。

意見7

人との関わりが苦手な生徒が増えている。定時制と全日制の生徒が交流する機会をすることで、孤立を感じない支援になるのではないかな。

意見8

定時制に在籍する外国人生徒への支援は、どのように行っているのか。

⇒語学力や学習定着度は差があるため、全ての教科・科目で丁寧な指導を心がけている。また、保護者が日本語を話せない場合が多いため、外国人適応指導員を派遣してもらい面談を行っている。

意見9

地域との連携、部活動ともに活発である。生徒はしっかりと挨拶することができ「大商ブランド」を感じる。また、定時制における日商簿記検定2級合格はすばらしい成果であり、昨年度、学籍異動がなかったことも喜ばしい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。地域連携の強化、教職員の働き方、生徒支援の充実などについて、多角的な意見が出された。今後の学校運営の参考とするとともに、地元企業・大学等と連携しながら、多様な学びを深める教育活動を推進していきたい。